

花園の迷宮 (1988)

メディア 映画
ジャンル ミステリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 118分
初公開日 1988/01/15

【解説】

江戸川乱歩賞を受賞した山崎洋子の同名小説を、松田寛夫が脚色し伊藤俊也が監督した。撮影は木村大作、音楽は池辺晋一郎がそれぞれ担当。

昭和十七年、秋元多恵が主人を務める横浜の遊廓ホテル福寿老に、美津と冬美の姉妹が売られてくる。その翌日、多恵の夫の市太郎が他殺体で発見され、ボイラーマンの荘介も腹を刺されて重体になった。カナダから帰国した市太郎の姉のキクは多恵が犯人に違いないと証言、警察も多恵を拷問するが、回復した荘介の証言により多恵は釈放された。だが今度はキクが殺され、キクに客を取らされ投身自殺した美津の遺体も見つかった。すべての部屋の会話が地下のボイラー室で盗み聞きできることに気づいた多恵は、荘介が犯人だと知り激しいショックを受ける。

【クレジット】

監督	伊藤俊也
企画	日下部五朗
プロデューサー	本田達夫 中山正久
原作	山崎洋子
脚本	松田寛夫
撮影	木村大作
美術	西岡善信
編集	市田勇
音楽	池辺晋一郎
助監督	藤原敏之
出演	島田陽子 Yoko Shimada 工藤夕貴 Youki Kudoh 黒木瞳 名高達郎 内田裕也 江波杏子